

2023年11月28日

東レ株式会社

東レ、業界初の完全水現像フレキシ版「RESOLUCIA™」を開発 —樹脂凸版市場で世界 No.1 シェア*1 を誇る TORELIEF™ の技術を応用展開—

東レ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:大矢 光雄、以下「東レ」)は、完全水現像の製版方式⁽¹⁾および、高精細な印刷品質を実現するフレキシ版⁽²⁾を開発しました。新ブランド「RESOLUCIA™」として、2024年1月から販売を開始する予定です。

東レは、樹脂凸版印刷市場において、長きにわたり高精細な印刷品質と高い耐久性を両立した TORELIEF™⁽³⁾を世界中のお客様に提供してきました。近年の樹脂凸版印刷からフレキシ印刷への移行を受け、これまで樹脂凸版印刷市場で世界 No.1 シェア*1 を築き上げてきた TORELIEF™の技術を展開し、このたびラベル用途向けのフレキシ版 RESOLUCIA™を開発しました。

新ブランド RESOLUCIA™は、高精細(Resolution) + 鮮明(Lucid) + 先端を行く(Advance)を組み合わせしており、フレキシ版で色彩鮮やかな印刷を実現したいという思いから生まれました。

RESOLUCIA™は、東レの技術革新によって 200 線レベル⁽⁴⁾の高精細に対応したことで、画像再現性が向上しただけでなく、完全水現像により、製版時間が約 24 分と業界で一般的な溶剤現像方式と比べ約 70%以上*1 短縮され、高い生産効率も実現しました。また、TORELIEF™をはじめとした樹脂凸版を既に利用している場合は、RESOLUCIA™の導入にあたり新規の製版設備投資が原則不要であることもメリットです。



(RESOLUCIA™刷版)



(RESOLUCIA™印刷物)

フレキシ印刷は、従来の用途であるダンボールなどに加え、近年ではラベルや軟包装などの包装材料にも使用が拡大しています。また、将来的に包装材料のリサイクル志向が強まることにともない、包装基材のモノマテリアル化が進むと予想されることから、東レではモノマテリアル軟包装印刷に RESOLUCIA™を適用するための研究も進めています。

なお、RESOLUCIA™は、ラベル業界の総合展示会 Labelexpo Asia 2023⁽⁵⁾ (2023年12月5日～8日 上海)を皮切りに、今後国内外の印刷関連展示会でのプロモーション活動を展開していく予定です。

東レは今後も、「有機合成化学」、「高分子化学」、「バイオテクノロジー」そして「ナノテクノロジー」という東レのコア技術を駆使して、社会を本質的に変える力のある革新的な素材の研究・技術開発を推進することで、企業理念である「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」の具現化に取り組んでまいります。

<注釈>

*1: 自社調べ

<用語・説明>

(1) 完全水現像方式:

印刷版の現像*に有機溶剤や添加剤を使わず、常温の水道水のみを使用する方式のこと。
*現像: 非画像部の樹脂を除去して画像を目に見えるように形成すること

(2) フレキソ印刷:

版の素材に樹脂やゴムを使用した凸版印刷方式の一種。表面が平らではないダンボールなどの印刷に多く利用されている。色調整等の操作が比較的容易なことから、近年ではラベルや軟包装などの包装材料にも使用されている。

(3) TORELIEF™:

画像再現性の高さや厚み・硬度の豊富なラインナップ、多様な用途を特徴とする世界No.1シェアの感光性樹脂凸版。

(4) 200線レベル

「線数」とは、1インチあたりの網点(細かい点)の数のことで、印刷物のきめ細かさを示す尺度。例えば175線の場合、1インチ当たり175個の網点で画像が表現される。線数が高い(=数値が大きい)ほど、それぞれの網点の大きさは小さくなり、よりきめ細かい表現が可能。一般的なカラー印刷物では175線が使用されることが多く、200線ではより高精細な印刷が可能。

(5) Labelexpo Asia:

アジアエリア最大のラベル・パッケージ印刷技術展示会。2023年に20周年を迎える。Labelexpo Asia 2023は2023年12月5日から8日まで上海新国際博覧センター(SNIEC)にて開催。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

東レ株式会社 広報室 (東京)TEL:03-3245-5179 (大阪)TEL:06-7688-3085